

【請願書 添付資料】

旧明石市立図書館をめぐる動き 2024/4/18 2026/1/6更新

年	和暦月日	事柄
1950	s 25. 4	明石競輪場オープン
1961	s 36. 3	阪本知事の競輪場廃止表明を経て、競輪場廃止。跡地利用では明石市と協議
1965	s 40	競輪場跡地は公園事務所に引き継がれ建物は除去され駐車場利用されたが「将来土地を利用する際は市の意見を尊重する」という念書。
1966	s 41	金井知事と丸尾市長の間で明石公園に市立文化会館建設を合意。場所は未定のまま事務的な協議が始まるが、当初は市が希望した東堀案は文化財の壁があり、バレーボールコートや東広場案、競輪場跡など転々とした。42/1には県生物学会からも反対意見書が出され暗礁に乗り上げる中、42/4の選挙で丸尾市長が退陣し建設構想は中止になった。
1971	s 46	県教委が県立図書館の明石公園内建設を立案。47/6明石市から競輪場跡への市立図書館建設の申し入れを受けて「県・市立図書館一体の最新式図書館」として建設許可の方針が47/8決まった。公民館は公園内の集会所として難点もあったが、図書館活動との一体性を期待することで許可された。
1973	s 48	県・市立図書館の設計は一体の建物として県の営繕課に委託され建設された。敷地は計10450㎡。公園内外から見て建物が樹林のスカイラインに突出する景観上の配慮が求められた。
1974	s 49. 10	都市公園法に基づく設置許可。10年ごとに更新。県・市立図書館&中央公民館開館
2001	H13. 4	アスピア明石北館に生涯学習センター開設。中央公民館は「生涯学習センター分室」で開放
2011	H23. 8	23/5就任した泉市長が駅前再開発ビル内への市立図書館移転を表明
2012	H24. 11	駅前再開発ビルの建設計画で市民の住民投票実施の直接請求を市議会は否決
2013	H25. 11	駅前再開発事業 解体工事着工。26. 6 (2014) 建設工事着工
2013	H25. 3. 1	設置許可期限を令和5. 3. 31期限の設置許可
2015	H27	県立図書館の耐震調査結果で地震で倒壊の恐れ判明
2016	H28-29	県立図書館の耐震補強工事実施
2017	H29. 1. 27	明石駅前に新・市立図書館移転。旧図書館に「あかしふるさと図書館」開設
2017	H29. 1. 26	明石市長から井戸知事に「ふるさと図書館」開設と貸室利用、許可期限までの施設廃止と土地の返還を報告
2020	R2. 3. 31	ふるさと図書館廃止により設置許可条件は消滅（不適合）
2021	R3. 10. 20	県民局長（加古川土木事務所）から明石市に2023. 3末までに原状回復と土地返還求める文書。併せて「県立図書館の移転は考えていない」と回答
2022	R4. 4. 11	泉市長との初会談で斎藤知事が「更地にして返せというつもりはない。うちの方もだいたい素案をかいているので、また提示したい」と言明。
2022	R4. 8. 24	東播磨地域づくり懇話会で明石公園問題で市長が知事に4項目を要望。①陸上競技場と野球場の早期改修 ②子どもの遊び場のインクルーシブ遊具など整備 ③市立図書館跡地への特別支援学校新設 ④ボート料金の値上げ撤回
2022	R5. 9. 8	高橋政策局長兼市長室長が県庁を訪問し、公園緑地課と「旧図書館撤去と原状回復の猶予を求める文書について協議
2023	R5. 9. 10	毎日新聞が「宙に浮く旧図書館、解体すれば8億円、“廃墟”維持に年300万円。県へ返還果たせず公園内の一等地未活用続く」と報道。斎藤知事が記事を引用し「今後出される市の方針を踏まえ県と市で協議し、早期に方向性を定めていきたい」とXに投稿
2023	R5. 9. 11	9/11午前に泉氏がXに「明石市が放置していたのではない。知事が約束していた提案を放置していたのが事実だ」と県や知事の対応の遅れを指摘する連続投稿。
2023	R5. 9. 11	泉氏の投稿を受けて報道機関が知事に「投稿の受け止め方」について取材申入れ
2023	R5. 9. 11	12：50ごろ、斎藤知事が丸谷市長に電話で、市の新たな施設整備計画の検討を踏まえて協議をすること確認し、泉氏の投稿について報道機関の取材を受けることを連絡した
2023	R5. 9. 11	市長との協議を踏まえ高橋局長が泉氏に「旧図書館の跡地活用に関してこれ以上件を批判する投稿を自粛する」ように要請した
2023	R5. 9. 11	15：48泉氏が「斎藤知事から本日、明石市にお詫びの電話があったとのこと。県からの提案が遅れていて申し訳ない。明石市が検討していただけるなら、ありがたいとの趣旨だったようだ。マスコミの皆さん、よく確認のうえ報道してくださいね。悪いのは明石市ではありません」とXに投稿した

旧明石市立図書館をめぐる動き 2024/4/18 2026/1/6更新

年	和暦月日	事柄
2023	R5. 9. 12	泉氏の上記投稿について県秘書広報室から市長室に9/11夕「文書による申し入れ」がメールで届いた後、9/12知事が会見し「電話の内容が誤った内容でSNSで拡散されたことは大変遺憾であり、市の情報管理のあり方についても苦言を呈する」と表明した
2023	R5. 9. 14	9/11の知事と市長の電話内容について、前市長が即日Xで「知事からお詫び電話があった」と流したことから県と市の間で紛糾。9/14の市議会本会議で問題になる。(盗聴騒ぎも)
2023	R5. 10. 5	旧図書館跡地に係るSNS投稿に関する調査報告書(全17ページ)を明石市が公表
2023	R5. 12. 27	明石市長から知事に旧図書館の撤去スケジュールについて協議・調整の報告と要請
2023	R5. 12. 28	斎藤知事が「具体的な方針が市長から示されたことは大きな一歩。県も連携して協力、支援していく」とコメント発表
2024	R6. 3議会 3/4本会議 3/12総務委	2024年度予算に活用計画策定費を計上。公明から「解体ありき」でなく耐震補強で使用する案の提案。共産は「中央公民館だった社会教育施設としての活用」も視野に入れるよう提案。市は解体と新施設建設前提に2024年上期にWSを経て計画策定を主張
2024	R6. 4. 4	市長と知事の明石公園会談で12/27報告通り新年度予算に計上を再確認し、知事は了承
2024	R6. 4. 20	第43回市民まちづくり講座「旧図書館の保存と活用策を探る」具体的な活用用途の提案も
2024	R6. 5. 15	「解体せず保存と活用を求める提案書」市長と政策局に提出(講座の議論踏まえ)
2024	R6. 5. 19	市がワークショップWS①開催/あったらいい施設や機能出し合う
2024	R6. 6. 19	利用計画素案を総務委に報告。解体前提の跡地利用。「居場所」500or1500㎡14.5億or21億
2024	7-8月	パブコメ18人から34件の意見。9月議会への報告は12件のみ、都合悪い意見は割愛、HPはアップ
2024	R6. 8. 10	松本は9項目の意見書提出するが、議会報告ではすべて割愛
2024	R6. 8. 19	市がワークショップWS②開催/活用計画素案提示、9月に計画策定へ
2024	9月議会	解体と建設へ向けた設計業者選定し発注へ向けた準備進める。500or800㎡、14.5億or16.6億円の2案。R7設計と解体着手、R8-9工事完了
2024	R6. 12. 10	総務常任委に旧図書館跡地事業との関係を説明せずに明石駅前歩行者デッキ延伸計画を報告(都市構造再編集 中事業補助金活用)
2025	3月議会	市民ホールの機能追加、設計と施工を分離発注、計画の工程を後ろ倒し。R7年度早々に解体設計の発注に着手するも、設計の予算計上もなし。解体と新設を一括発注するかは設計の中で検討
2025	R7. 8. 2	市のWS ウイズあかし8階フリースペース40人
2025	R7. 6. 10	設計業務委託公募。仕様書では解体費除き7.6億円。解体設計11/末基本設計~26/1末、実施設計26/9末
2025	R7. 8. 1	昭和設計に委託契約7566.6万円込(提案上限額9460万円)次点は安井建築設計(2社入札)
2025	R7. 8. 2	市がワークショップ③開催/設計提案以外案説明500-800㎡/2026年度末迄解体、2026下期着工27/3完
2025	R7. 9. 24	総務委報告では基本設計~26/1.31、実施設計26/9.30、27年度中には供用開始と説明
2025	R7. 12. 10	総務常任委で基本設計素案を報告。6/10設計委託公募時の施設規模約800㎡⇒12/10素案999㎡。また駅前歩行者デッキ延伸計画が構造的に無理なことも報告。旧図書館利活用計画の表現が消えて「明石駅周辺地区の取組」に変更(補助金計画に暗雲か?)

■市長「市立図書館の解体費、圧縮を」2022/4 泉市長と斎藤知事の会談

市長 「たら、れば」だが、特別支援学校が東播磨地域で必要だと言われている。明石市内の発達障害の方や特別支援学級に通っている方々が、市内に特別支援学校がないので、市外に行っている。明石市内でぜひ支援学校をーという声をいただいているので、例えば県立の特別支援学校をつくってもらえれば、大きな意味では県民にとって望ましいのかなと思っている。

知事 思いは分かりました。これから検討していくが、解体とともにどう上物をつくっていくか。例えば民間の声も聞きながら、にぎわいを生む施設をつくってもらう中で、県立公園と一緒に交流できるような拠点を考えていきたい。特別支援学校という思いは、今は正直ないというのは伝えておきたい。民間の方々からいろんなアイデアをもらいながら、解体も含めてやる。民間にお願いすれば、解体費もだいぶ圧縮できると思う。

市長 そこはぜひお願いしたい。市立図書館の解体費8億円のうち、せめて半分ぐらいは国でもつか、民間を使ってもっと安くすることを考えている。漫然と市民の税金を使うのは、ちょっとご勘弁をーということ。

知事 分かります。契約だからといって(市立図書館の跡地を)更地にして返せーというつもりはなく、やはり民間の投資をいれながら、8億円を圧縮するような提案をいただき、民間で解体とコンストラクション(建設)をやる方が絶対に安くすむはず。実は、うちの方でだいたい素案をかいているので、またご提示したい。解体だけで8億円はしんどいと思う。